

頓醫抄

第一
第二

五蔵六府
諸風上
是實寒熱

和書門
特別
一九一四〇
第 五 九 番
函 號
架 冊
二 五

内閣文庫		
番 號	和	19140
冊 數	25	(2)
函 號	59	1



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

五臟六腑虛實寒熱

弘前醫官
江氏藏書記

清膾湯	青原湯	清肺湯	清脾湯	瀉心湯	瀉肝湯
潤焦湯	瀉浮湯	瀉白湯	平胃散	清脈湯	瀉膽湯
益志圓	溫腎散	補肺湯	補脾湯	茯苓補心湯	補肝湯
安中散	補浮湯	固腸湯	養胃湯	溫脾湯	溫膽湯

頓醫抄卷第一

性全集

五臟六腑虛實寒熱證治

凡ホトツリニキタルハ瀉藥ニテ下スヘシウツケ冷タラフ
シハ補藥ニテキスウヘシ其ウツケタルハ必疾ル故ニ虚
寒トイフニキタルハ必ホトツル故ニ實熱トナワリ寒
熱虚實ツララスニタリニ藥ヲアタウレハ立効ニ今
害ス天熱シタルニ補藥ヲアタフレハタトハ火ニ新シ
テスカフトシウツケタルニ瀉藥ヲホトフスハ誠ニ氷ニ水ヲ
添ルカトシ能ク是ヲツラシミアキラムヘシ此ツレハ
上醫ハ色ヲミテ知中醫ハ声ヲ聞テハキマヘ下醫ハ

此ヲ
脉ヲ取リ心ニ覺ル是ニナテ人シリ得ヘキ取ニアラス
是ニヨツテアラク病ノ姿ニヨリテコレハ熱ヨリ起リタルハ
寒ヨリウツケタリトシラシメン為ニ本文ヲ書ニスル也委
弁ルハ口傳アリ

一肝藏實熱ハウキシタ痛ニ腹立物カナレシ身ホト
ツリアヘキシ胸ニキフサカリ目イタツ物ヲミル事アキ
ラカナフス心ホレツ子モノクルハレツ心ニ思ハヌ事イワレカ
事ヲヨウ子ニツムク心ノ出クル也此ハ下スヘシ

瀉肝湯 此ハ肝藏ハカリヲ下ス藥也

瀉肝湯下脱三四方三
字以下至安中散並
見三四方卷八

前胡

カフヲ切ステ、
キサムヘシ

柴胡

カフヲ切ステ、
アライテキサム

秦皮

カフ皮ヲケツリ
ステ、細キサム

細辛

カフヲ切ステ、
キサム

梔子仁

キサム

黄芩

キサム

升麻

キサム

麩仁

細ニツキ
碎ヘシ

决明子

スリ碎ヘシ
各五分

右アツクキサヒテ合テ一度ニ錢四文ノシモサツ水ニ盪
ハカリ苦竹ノ葉五車前子ノ葉五入具メ一盪ニセン
シテカスツ捨テ芒硝ヲ錢ノ一スツヒ入テ又煎メトラ
カシテ可飲時ツサタメス
次、膽ノ腑ハ肝臟ノ府ナリ膽實熱スル時ハタサム
クシテ腹ノ中氣ニチツクシテワキノ下ニ氣カタメリ口

三方酸枣仁二兩

一 瀉膽湯

ニカリ喉カワキカシラヒ、ラキテ食セラレス此ツ下ス菜

半夏

三兩湯ヲモテ
セトナメリヲアス

生地黄 酸枣仁

是ハナツメノサ子ノ
中ノニ也トイフハ非也

黄芩

各五兩

遠志

カフ并ニ中コヲ捨テカミツツキ
ホリタル汁ニヒタシテイリカハスヘシ

茯苓

各二兩

甘草

一兩アフレ

右各キサヒテ先水ニ餅ノ米ヲ少シ入テカヘラカシ煮出テ
スシテスベシタルニ此菜ヲ錢ノ四スツヒ彼ノ湯ニヒキハカリ
ハシカヒセヘキ入テヒキレニ煎シテアタ、カニテフツスヘ
シ時ツサタメスタヒノ、可服

心

一肝藏ノウツケ冷ハウキノ下サシヨミテ筋ツリテヤスムイ
マス或ハ冷或ハホトリテ飲食スルヲアタハス必モノウ
クシテタノシエス四ノ五々冷テ胸サシコシテ腹イタニ目定
クトシテ左ノ脇ノ下イタクスチナハ足弱^シ此補菜
ニテ可補

一補肝湯 此肝藏ノ冷虚シタルヲアタメ補菜也^シ又
女ノ胸ヤヒ并乳癰冷ホトリ消渴凡ノコウカレ^朽落^イ面
青^イシ治スル也

山茱萸 甘草^ア 桂心^各 細辛^苗 芍药^ス 茯苓^皮 薤白^二 栝子仁^ア 防風^各 川烏頭^各

茯苓^皮 ヲツリ 薤白^二 皮^ヲ ヲムキテスル^ハ 拾^テ 栝子仁^ア ヲ碎^シ

防風^各 川烏頭^各 カニニ包テ水ニヨクヌラシテアツハイニ
ウツシテ能クムシテ取出メヲキニシリ
ノアツ灰ニコロハカシテアカ^リノ^シタル
時取出メ皮ヲケツリ拾テホ子ヘツ
モケツリ捨テ二分

右各キサシテ一度ニ錢四文ガヲモサヲ水ニ盪^シ薑
五片^ホ束^シ三入テ七分ニ煎メカスヲ捨テ空心ニ可服

一温膽湯 此膽ノ府ノ冷虚シテ目^ルメキ足冷テナハ
指ハタラカス身スクシテ起卧カナハス目ノ色黄ニモノ
ヲトロキアヘキクルシク身スコレウキハレテ子ムラサルヲ
補菜ナリ

半夏 湯ニ七度洗テ 麦門冬 ナカコロ拾 茯苓 二兩

酸枣仁 三兩アフレ 甘草 一兩杓 桂心 一兩アラ皮ヲ

遠志 ナカコロ拾 黄芩 一兩 人参 カフヲ拾

右細ニキサシテ一度ニ錢四文カツモサテ餅ノ米ヲ煎メ出

シタルヲ二盞計入テ一盞ニ煎メコシテ可服

一 心藏ノ實熱ハ胸ノ下ヲサカリニチ身ヲモツ中ホトヲ

リ喉カハキコチカヘシ腹ノ内雷ノノトク鳴痢結レ食シ

ス物消セス吐ツカントスレトモ吐ツカレスレテモ夕ハツツライ

アヘクニ氣ジケン

一 瀉心湯 此ハ心藏ノ熱ヲ下スナリ

黄連 毛ヲ去 半夏 湯ニテ七 黄芩

甘草 炒 人参 カフヲ拾 乾薑 アツカイニヒス

右割合テ一度ニ錢四文カツモサテ水ニ盞ニ東ニ入テ七

分ニ煎テカスツコシテ温テ服スレ此茶ハ若雷乱シ

治セント思ハ附子一ヲ炮メ皮ホヅツ削捨テクワヘテ

煎シテ服セヨ若喉カハキ飲水氣ナラハ桔萎根ヲ

クワヘテセンセヨ若苦痛只當飯ヲ加テ煎セヨ若コチ

ヒナクカハハ橘皮ヲ加テ煎セヨ若身ノウチニカ熱

セハ乾姜ヲソイテ生ハレカミシ入ヨ

一 次ニ小腸ハ心藏ノ府也小腸ノ府實熱スル身ホトリ
手足ノ^ナハトシリ汗タラス胸ノウチ煩ヒモタヘ
チ瘡^ナテ氣快クカヨク舌ニ瘡出テ身重シ

一 清脉湯 此小腸熱ヲ下ス

柴胡 酒ニ浸メ 澤泻 切テスレ 陳皮 ウララ 枳實 ウララ

芒消 黄芩 各等分 升麻 旋覆花 唐

生地黄

右細剉テ一度錢四分重サ水一盞半入テ七分ニ

煎メカスヲコシテ后芒消ヲ入テ又二度煎メカツナカラ

服スヘシ^一眩ヲサタメス^一次ニ心ノ藏ノ虚冷ハ心常ニ驚

キムチサワキシテタノシニス胸腹イタク胸フサカリテ

ヨロヒニモイカリニモウレヘニモ心ヨクトシテ鼻血ツ

子ニタリ面ノ色黄ニム子ヨリカニ常ニホトシリ喉カキ

ヒトリコトセラレ喉イタミ舌ノ子スリ冷汗タリ物ワス

レシ心ニ物ヲツルナリ

一 茯苓補心湯 此虚冷ヲ補スル也

白茯苓 人参 前胡 半夏 湯ヲモテ七返洗フヤメリツ

スツヘシ

川芎

各三兩
三分三兩
火ニアラス

陳皮

紫蘗

枳殼

ウラク白モヲトリ
ステ、小麦ノカスミ
ニセテイル

桔梗

甘草

乾姜各三分

當飯

一兩三分

白芍薬兩ニ

熟地黄一兩
二分

右細キサニテ一度ニ錢四文ノ重サ水一盞半姜五

片干束ニ入テ七分ニセシテカスヲコシテ食前ニ服ス

一次小腸虚冷カタカシライタク耳ノシタヒイラキ赤

白痢下リ腹腸ナ界腹ノウチツリイタニウチ急

ニウシロヲモクレタリ

一温脾湯 此小腸府ノ虚冷シタル病ヲ治ス

乾姜一兩

當飯

黄蘗

地榆

各二兩
水イチヲノ子

阿膠

小麦ノカス
カセ茴香

石榴皮

黄連

各一兩

右細キサニ合テ一度ニ錢四文ノ重サ水一盞半入テ七分

煎シテカスヲコシテアタメカニテ可服ス

一脾藏ノ實熱ハ足冷ワキホトヨリ腹フクレミチ煩ヒシ

タレテ臥事アス舌ノ子コワク身重ク顔黄ニカシライタ

ク右ノワキノ下ニチイタミフクレ口唇カワキヒキレ冷

ホトシル夏ヲフリ心チノフトシ

一清脾湯 此脾藏ノ實熱ノ病ヲ治ス

茯苓^二兩 陳皮^二兩 甘草^一兩 草菓^二兩 白朮^二兩
人參^一兩 桂心^一兩 川芎^一兩 半夏^三兩

右細キサニテ一度ニ錢四文ノ重サ水ニ盪生薑七片
紫蘊三葉入具メ七分煎メカスヲコシテ可服痢ヲ下サト
思ハ大黃二兩ヲ加テ煎スヘシ次ニ胃府ハ脾蔵ノ府
也胃府ノ實熱ハ口唇乾カラエツキシ煩ヒモ夕ヘ大小
便シフリトコホリ及熱病ノ后ノコリノ熱アリテ胃府
トニリテ四肢ホトフリ口乾胸^滿脹テ汗タラサルナリ

一平胃散 此ハ胃ノ府實熱ヲ治ス

厚朴^一兩 射干^一兩 升麻^一兩

茯苓^半兩 芍薬^二兩 枳殼^一兩 大黃^一兩

甘草^各一兩 右細キサニテ一度ニ錢四文ノ重サ

水ニ盪入テ七分煎メカスヲコシテ空心ニ温^{アツク}テ可服ス

一脾蔵ノ虚冷タル病ハ腹タリ腹ニ氣フクレニチ常ニ
カラエツキシコ、チカシ胸煩ヒ卧事エス腹鳴脹飲食
消セス身ツカレカニモノウシ常ニ瘦テヲクヒ酸キ香スル
也手足冷アカリフス^{ウツケイ}ト多ク起^{ウツケイ}テスツナシ方ニ心タシカラ
一補脾湯 此ハ脾蔵ノ虚冷ヲ治ス

人參 茯苓 草菓皮ヲス 乾姜炮セヨ各二兩

大大ムキノモヤシ 麥蘖 甘草各二兩半 厚朴アヲカカシテ、シカ 陳皮ウラヲコソケ

白朮各三兩 右細ニキサシテ一度ニ錢四文ノ重サ

水一盞半入テ七分ニ煎メカスヲコシテ食前ニ服スヘシ

次ニ胃府ノ虚冷ハ四ハキ冷テ卧事ニスソ、口サムク

冷腹ノウチ痛ミウツテ鳴ヒホトアルコト發心ツ地

コトシ唇口カワキ面目ウツケ少シ腫カラエツテカシ

テ手足ヒラキイタミ飲食セラレス

一養胃湯 此胃府ノ虚冷ニヨシ傷寒ノ骨節痛ヨシ

厚朴ハシカミノ汁ニヒタシテアフレ 藿香葉ヲステラヨ 半夏湯カキテ 茯苓各五

人參カフヲ 甘草アフ 附子炮シテカミヲ取テアツ灰ノ上ニ

陳皮ウラノ白ニシラ 草菓皮ヲステヨ 白朮各半兩

右細ニ對テ一度ニ錢四文ノ重サ水一盞半姜五片

干枣一鳥梅一入テ七分ニ煎メカスヲコシテ空心ニ服セ

常ニ服ス六胃ヲ温痰ヲケシ食ヲス、メ氣ヲクタクシ

寒疫ヲヤニス

一肺藏ノ實熱ノ病、鼻ヲサカリ汗出、事露ノ下シ氣

アアリアヘキシシワフキシ喉ノ内ヲサカリ氣短ソ内ホト

フリテツワキニ血ヲ吐也

一清脾湯 此肺藏ノ熱ヲ治ス

薏苡仁タツシ防己ナリ杏仁カモウリノミ冬瓜子仁已上各三分雞子白皮ニツトリノアヒコノワラ

右細ニキサミテ一度ニ錢四文ノ重サ先葦ノハニキソヲ

水三盞計入テ二盞ニ煎メ其ニ此菜ヲ入テ七分ニ

煎メフシテアタカニテ食前ニ服スヘシ

次ニ大腸府肺藏府也大腸府ノ熱ハ腹フツレフサカリ

ヘソノ下イタツ食消セスアキシテ久起支アタフスロニカサ出也

一瀉白湯 此大腸ノ府ノ熱ヲ治ス

橘皮 淡竹茹唐竹茹也黄芩 梔子仁

藥皮各兩二分芒消兩生地黃五兩茯苓兩

右細判テ一度ニ四文ノ重サ水一盞半葦五片干

枣ニ入テ七分ニ煎メ空心ニ服セヨ

次ニ肺藏ノ虚冷ニ氣アカリセナカ冷口ノ内雪氷ヲ

含カトシ物云ニ声タス舌ノ根乾アハヲハキ血ヲ吐ス

スハナタル也飲食スニス

一補肺湯 此肺藏ノ冷ヲ治ス

欵冬花 桂ハアラ皮ヲステヨ桑白皮 人參カフヲ捨ヨ

ヤコニアルフキノハヤ

クワノ子ノシラカハ

紫苑茸 白石英 各一兩 五味子 鐘乳 各一兩

麥門冬 中ヲヲ捨テ 右細剉ニ一度ニ錢四文ノ重

水一盞半 姜五片 干枣三ウレシ子ノ米一ツニ入テ

七分ニ煎メカスヲコシテ食前ニ服セヨ

次ニ大腸府ノ虚冷ハ青白痢下ス小便赤黄ニ氣ア

カリ胸サシコミ久ク起ヌ不能身ハ腹ツリヘツノ多

リイタシ

一固腸湯 此大腸ノ府ノ虚冷ニヨシ

酸石榴皮 兩 黄連 一レ 地榆 各兩 罌岳粟殼 スニ浸シテ

茯苓 各一兩半 右細剉合テ一度ニ錢四文ノ重

水一盞半 姜五片 烏梅一入テ七分ニ煎メカスヲコシテ

空心ニ服セヨ

一腎藏ノ實熱ノ病ハソノ下フシ満テ足ノ三身鳴

ホ子髓ホトヲリ小便赤黄ニ腰背ハルヤウニイタシ

一青原湯 此腎ノ藏ノ熱ヲ治ス

茯苓 黄芩 菖蒲根 各五兩 玄參 細辛 各四兩

大黃 水ニヒタシ 甘草 各二兩 磁石 八兩ヤキテ酢ニヒタシテ

右細剉合テ一度ニ錢四文ノ重 水一盞 入テ七分ニ

煎メカスヲフシテ温テ服スヘシ

次ニ膀胱ノ府ハ腎藏ノ府也膀胱府ノ實熱ノ病ハ
背イタク氣塞テノヒス舌乾喉ハル也

一瀉浮湯 此膀胱ノ熱ヲ治ス

茯苓 梔子仁 知母 各三兩 生地黃

淡竹葉 各五兩 石膏 八兩土器ニ入テ

右細剉合テ一度ニ錢四文重水一盞半入テ七分煎メ

蜜一匙入テ又煎シテカスヲフシテ温服セヨ

次ニ腎藏ノ虚冷ハ陰ナヘ腰背イタク身重手足

カナクナヘテ腰ニカナシ声言ヲモシレ温尤氣ナシ

一温腎散 此腎藏虚冷ヲ治ス

熟地黄一斤 茯苓 酒ニヒタシテ 麥門冬 中ノスチヲ

牛膝 酒ニヒタシテ 五味子 巴戟 中ノスチヲ 乾姜 炮シテ

右スリフルイテ一度ニ錢ニスツイアタメタル酒ニ空ニ

一日ニ三度服セヨ

次ニ膀胱府ノ虚冷ノ病ハスチツリ腹イタク腰背痛テ

ヒカニル莫不能耳鳴ヲホロニ目ウルキイル眩ヲ

シトス小便シケク小便ノ色白ニヨリ顔ノイロツロツ

甘草 各八兩
ナカノホヲ
ステヨ

杜仲 中ノスチヲ
土中ノ汁ニ
アフレニ

シテ墨ノトシ

一補浮湯 膀胱府ノ冷ヲ治ス

黄芪 白茯苓 磁石燒テ酢ニ浸テ
ホスリニ返セヨ 五味子

杜仲アラ皮ヲ削捨テハシカミノ
汁ヲスリテ務キルホトアフレ 白木各三
兩 白石英打碎テ
各二兩半

右細剉合テ一度ニ錢四文重水一盞半入テ七分煎
メカスヲコシテ空心ニ温酒服セヨ

一命門實熱命門ト云右ノ腎ノ藏ナリ身ホトシリ
背脇アヒ引テイタシ足冷小便赤黄ニメ梔子ノ色ヲ
コトシ小便セントスル眩ハ陰ノカシラナカイタシ

一清臍湯 右ノ腎ノ實熱ヲ治ス

榆白皮 冬葵子各五
兩 石韋毛ヲコソケ捨テ
四兩 通草 瞿麥各三兩

右剉合テ先水二盞ニ車前葉一ニキリ入テ一盞半ニ
煎メサテ此葉ヲ錢四文重入テ又煎メ七分ニシテ
カスヲコシテ温ニ服セヨ

次ニ三焦府此命門ノ府也三焦ノ實熱自ノスニ
痛ニ腰脇ホトシリ背中骨胸ニトシリ痛ニ頭ヲ
面ニ汗出喉塞リテハカスヲタサス或ハイキサカヘテ

ツカス或ハ腹クタリ小便シフル

一潤焦湯 此ハ三焦ノ府ノ病ヲ治ス

地骨皮

半夏

柴胡

澤泻

各五兩イモノカシ
ヲアラハズシテ
チタルニ似タリ

茯苓

麦門冬

甘草

人參

各一兩

右細剉テ一度ニ錢四文目水二盞生姜五片竹茹

モ糸トヲニシテ入テ七分煎メカスヲヌテ、空心服ヨ

次ニ右腎ノ虚冷小便シケク腰脇ヒキイタミ氣短ク

ア(キシハフキ手足冷ヒ、ラキ耳鳴顔黒骨ノ中

ホトヲリ夢ニハ小便ノ色白クニコリ小便ノ后シタ、

リヲテ目クルメキ身クルシク弱シ

一益志圓 右ノ腎ノ虚冷ヲ治ス

鹿茸

酥ニヒタシテアフレ
毛ヲヤキテ捨ヨ

巴戟

中ノスチヲ
ステヨ

熟地黄

酒ニヒタセ

枸杞子

肉蓯蓉

酒ニ
ヒタセ

牛膝

酒ニヒタセ

附子

桂心

アラ皮ヲステヨ
アフラス

山茱萸

秋ノク
アキノガニナリ

白芍薬

防風

カフヲ捨ヨ

甘草

アフレ
各五分

右細剉合テ一度ニ錢四文目水一盞生姜五片塩少シ

入テ七分煎メカスヲコシテ食前ニ可服ス

次ニ三焦ノ府ノ虚冷ニハ氣短シテクルシ腹ヤスカラス

食スレハヤカテ下ル小便赤クニコリ精掌モリ足ハ
キイタヒヒラキ腑ノ下脹満セリ

一安中散 三焦ノ虚冷ヲ治ス

熟地黄 巴戟ヨクニシ 龟骨各二 远志中コヲ捨テ

茯苓各三兩 天雄炮セヨ 五味子 山茱各三兩半

肉苁蓉酒ニ 續断各四兩 蛇床子炒 兔絲子酒ニ浸

右細碎フルイテ一度ニ錢ノニスクヒアタメタル酒ニテ可

服此病酒ニ 醉クイモノアキタル眩暈ニトツケハ起病

也ヨククツシムヘシ人トニ是ヨリテツキタル病也

一肝藏木也春王スニ魂目ニカタトル血ニアラハル酸味

青色第九椎ノ下両方ヘサル事各中ホ子ヨリ一寸五分

ツ也肝輸也春ハ炎スヘカラス膽府肝藏ノ府ナレハ

皆肝藏ノ如シ但シ 膽ノ輸ハ第十椎ノ下両方ヘ中骨ヨリ

去一寸五分也己モ春ハ炎スヘカラス此上穴トモ己ノ

病黒ニナリ煩ヒ寒熱ニハカリ ヲタリテ可灸

一心藏火也夏王ス舌ニ當ル苦味也赤色也心ノ輸ハ第五

椎ノ下中骨ヨリ両方ヘ去一寸五分ナリ夏ハ不可灸

小腸府己ハ心藏ノ府ナレカ心ノ藏ニトナラス但シ其穴

第十八ノ推ノ下中骨ヨリ両方へ去_リ各一寸五分也此
穴ハ胸内フサリ胸イタニ汗イテスソ、ロニサムク心ヨ
ハキニ可灸

一脾藏土也土用ニエスロニアル甘味也黄色也脾膈ハ第
十一推ノ下中骨ヨリ両方へ去_リ各一寸五分アリ土用ニ
不可灸

胃府ハ脾藏ノ府ナク方脾藏ニタカフヘカラス胃ノ膈第
十二ノ推ノ下中骨ヨリ両方へ去_リ一寸五分^五アリ此穴
ク多シ腹脇ノ下イタカクイキ^イサシ心サキフツレ身瘦

クチカリ不食黃疸ニ可灸

一肺藏金也秋王ス鼻ヲツカサトル辛味白色魄肺ノ
膈第^第三ノ推ノ下両方へ中骨ヨリ去_リ各一寸五分
アリ秋ハ不可灸

大腸府此肺藏ノ府ナクサラニ肺ニ同シ但シ大腸
ノ膈ハ第十六ノ推ノ下中骨ヨリ両方へ去_リ各一寸五
分アリ已上ノ穴トモハ胸イタニ腹クタリ腹ナリ腹脹
シハフキニ可灸

一腎藏水也耳ヲツカサトル冬王ス鹹味也骨ヲ養黒

色腎ノ筋ハ第十四ノ推ノ下中骨ヨリ両方へ去リ各一寸五分ニアリ灸スル事不可好冬ハ一向不可灸ス
 膀胱ノ府ニ腎ノ藏ノ府ナレバサキニカワラス但シ膀胱ノ筋ハ第十九ノ推ノ下中骨ヨリ両方へ去リ各一寸五分ニアリ此等ノ穴ハ小便トコホリ骨冷ホトシ河小便赤ク黄ニ手足冷疼ニ可灸

頓醫抄卷第一終

頓醫抄卷第二

諸風上 一本作五藏中風相

性全集

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 八味煩氣散 | 小續命湯 | 附子湯 | 乾姜附子湯 |
| 独活湯 | 温中生薑湯 | 白散子 | 三黃湯 |
| 松節散 | 防風圓 | 川芎圓 | 排風湯 |
| 八風散 | 清神散 | 七聖散 | 治活風烏荆圓 |
| 四生散 | 省風湯 | 黑神圓 | 香芎餅子 |
| 川芎茶調散 | 防風散 | 附子散 | 烏金煎 |
| 一方三 | 醒風湯 | 加減三五散 | 山茱萸散 |

防風散

三聖散

醒風湯

苓朮湯

五痺湯

漢防己散

一方

獨活散

一方三

麻黃散

一方

活血丹

一方二

稀涎散

一方

桂心散

大續命湯

一方

麻黃散

羌活散

防風散

桂心散

麻黃散

續命散

防風散

牡蠣散

人參散

牡蠣散

茯苓散

防己黃耆湯

一方

防風散

一方四

點頭散

一方

神砂圓

茶調散

椒目散

灸肝七所

麻黃散

一方三

牛黃清心圓

物桂圓

延齡湯

開噤圓

又方二

神効散

潤體圓

諸風上

夫風ハ天地山川ノ氣トシテ陰陽寒暑ノ變ヲナス
若時ヲ不失則ハ則キ万物ヲ生長シ群庶ヲ養育ス
若節ニタカフ時ハ則品類ヲ觸冒黎元ヲ傷害凡
春ハ東ヨリ来ル風ヲ艸ヨリ来ル風トナツク是ニ尤モ
アタルヘシ不可恐若西ヨリ来ル風ヲハ艸ヨリ来サル
風トイフ邪風トナツク大ニソコナフ其故ハ春ハ木ヲ
西金ノ方也金ハ木ヲ尅スルヲモテ春ノ西風ヲハカク
恐ルヘシ古人コレヲ去ス夫ヲ去カコトシセヨトイヘリ人

是ニヤフラル、ヲ中風トハ云ナリ餘ノ三方ノ風ニハアタレ
云共惡カラス夏ハ北方ノ風ヲ恐ルヘシ夏ハ火ヲ
北ハ水ノ方ナリ水ハ火ヲ尅スル故也土用ニ東ノ風ヲ
可恐土用ニ土ヲ東ハ木ノ方也木ハ土ヲ尅スル謂
也秋ハ南方ノ風ヲ可恐秋ハ金ヲ南ハ火ノ方也火ハ
金ヲ尅スル故也冬ハ又南方ノ風ヲ恐ルヘシ火土同宮ト
テ土ハ南方ノ火ノ位ニアリ冬ハ水ヲ尅スル故也
此四時ノ邪風ハ春九十日ノヲハナツケテ清風ト云今
ソコナフヲハ肝風トス夏九十日ノヲハ名テ陽風トス人ヲ

ソコナフヲハ心風ト云秋九十日ノヲ名テ涼風ト云人ヲソ
ナフヲハ肺風ト云冬九十日ノヲ名テ寒風ト云人ヲソナフヲハ
腎風ト云又邪風アリ云人ノ間庭菴門戸窓牖ノ
逢氣也コレヲハ尋常ニトシリノ風トモ云スキテノ風共
云フ是ハ天ニ風フカカル眩モ此ノ氣ハ常ニアリ人常ニ
是ニアタハ不覺シテ人ノ膚肉ヲ虚セシム人ノ百脉
入五藏六府ニナガレ留ニヨリテ病ヲナス也

五藏之中風之相

一肝藏ノ中風ハ常ニ踞坐メ頭ヲ打タルハ不能面目

阻

及ヒタイノ色青色ニメ汗多タリ左ノ脇ヲ痛ニ甘
味ヲ好ミテ沮婦メ形ノフトシ筋ツリテノヒス若唇
青メ面ノ黄ナルハ生ヘシ治セヨ速ニ肝ノ膈ヲ百壯
灸メ茶ヲアタフヘシ遍身青黄ニ顔色一度黄ニ
一度ハ白カワルハ肝藏ステニ破レタル也不可治数日ヲ
ヘテ可死

一心藏ノ中風ハ夕、偃臥ヲ好シテ傾側スル者又不能汗
出唇赤シテ汗流ルハ生ヘシ速ニ心ノ膈ヲ百壯可灸
三因方ニ云ク心中風汗多タリハ夕エソ、口寒身ノ色

一本作時々コレ

赤ク少シホトリ物イワス食スレ反吐シ舌ノ色コカ
レ色ニ赤シトイヘリ若唇或ハ青ク或ハ白ク或白
或ハ黄ナル心既ニ破タル也不可治時ニ及恐形アルハ
五六日シテ死ス也

一脾藏ノ中風ハ腹フルレ遍身少黄ニメシハユキ物ヲ
吐汗多クタリソノサムク手足ウコキ振ヒテイキ
短ク飲食眠ヲ好ミ酒ニ酔タルモノ如シ唇黄色
也速ニ脾腧百壯灸スヘシ若手足ノ色青ハ不可治
一肺藏ノ中風ハ偃卧メ胸満イキニシカクモ久ハ苦ニテ

汗出目ヲタレ身ノ色白ク乾喘シ氣アカリ身重
背痛ニ顔少シ腫登ハ心チ少シヨク夜ハワライ鼻
ノ色白ク速ニ肺ノ腧ヲ百壯灸スヘシ若身顔ノ色
黄ナル肺已ニ破タリ不可治其人空ヲツカミ地ヲサシ
衣ノ縫目ヲ尋アツカフハ必死

一腎藏ノ中風ハ踞坐シテ腰ヲイタニ常ニ在右ノ脇ヲカヘ
リニル汗タリソノサムク身ノ色黒ニ身スヨシ腫腰背
骨痛ニ膝下引ツリ痛ニ卧汗タリ耳ノ色コトニシ
速ニ腎ノ腧百壯ヲ灸スヘシ齒ノ色黄ハニ鬚髮スシ

ニ頭ヲモテ土ノ色ノコトクナルハ不可治ス

一八味順氣散 嚴氏濟生方ニ出タリ又人參順氣散

ナク又通氣驅風湯ト云此茶諸中風ニ寒熱虛

實ヲトハス先是ヲアタフヘシ是則氣ヲ調ル故也氣ヲ

調テ后病ノ振舞ヲミテ五藏ニアル處ノ茶ヲモア

夕へ自餘ノ治方ヲホトコスヘシ

青皮 ウララフコケ拾テ 白木 ヒヤクシツキニテヒヤクフリヤウ 白茯苓 アツ皮ヲ 陳皮 ウララフコケ

烏藥 ウヤク 人參 ハカリ也 甘草 ハカリ也

私云此茶七味如何檢池本香白芷一兩入ナリ

一本陳皮上有香
白芷无下私云一行

右細末メ毎服三錢重水一大盞ヲ入テ七分煎シ

温ニテ服シ不定日ニ三四度服セヨ既ト種合香圓酒

スリテアタメテ一シへ服セシメヨ

一小續命湯千金方 俄ニ中風メ死ナントシ身或ハ緩或ハ

情 スクニ目口ユカミ舌コハリ物云事不能神精悶絶スルヲ

治ス此茶諸中風ヲ治ス輕重表裏淺深シトハ是

ヲアタフルニ皆シルシアリ又脚氣ノナヘヨク天ノ陰暎

骨スチノ痛ヲ治ス

防風 カフヲ除テ 麻黃 子ヲシテ切去テカハリ湯ニ入テ 防己

均

人參

黃芩

桂心

杏仁

湯ニヒタシテ皮ヲ去

烏藥

甘草

川芎

各二兩

附子

一ケヲ紙四五重ニツミテ水ニヌラシテアツ灰ニウツミテフリクトムイ
テヤワラカニ成タル時取出メ上ノ皮ヲケツリ去テヘソクヲノクシテ

捨ヨサテウスヒロニ切ヘキテカク湯ニ半時浸テヲケ、黒汁出ル也
汁ヲ捨ヨカテトアフリテキサニテハカリニカケヨ一作兩

右細對合テ每服四錢水一盞生薑七片束ニツ入テ七分

煎メカスヲコシテ時ヲ不定常ニ可服若中風ノ人心ホレ

テキモキヘ六枚茯神遠志ヲコシラヘテ一兩宛加ヘシ遠志

ヲハ芦ヲ切除テ根計ヲ取テヨク洗ヒテ打ヒシキテ中人

心ヲ取テ捨ヨ根ニ計ヲ取テアフリテハカリニカケテ合也

項

以下當在凡
圖之下

若中風ノ人骨節ホトヲリヒ、ラキ痛ニ熱スト知テ

附子ヲ去テ均菜ヲ一倍シテ加テ服セシメヨ濟生方ニ

イタク心ヲ惡ク項背ソリコロワ目クルメキ心ホレ手足ニ

カナク骨節ヒラキト、モリ物ヲ見ルヌヌヤスカラス

心ヨク不眠ヲ治

天麻

芦頭ヲ去テ酒ニ浸メ

川芎

防風

甘草

各二兩

辰砂

半兩スリテ
衣ニキセヨ

右細末メ煉蜜ニテツキ合テカリニ

カケテ一兩ヲ十丸ニ丸メ辰砂ヲ衣ニキセテ每服一丸ヲ

荆芥ノ煎物ニテスリトキテ日ニ二三服時ヲサタメス可服

茶ヲ立テカニ碎テモ可服又酒ニスリテモ可服
 一川芎シキウ圓エン和劑方ワジ諸中風痰ヲトカシ咽ノ塞リヲ去テ頭
 痛ニ即ケルメキ心ホレテキモキヘシ胸熱ホトリイキ短カシ
 手足遍身ホトヲリヒ、ラキ皮ヘカユカリ目ノウチイ
 タニ鼻塞フチリ面ノ色赤皮ヘ虫ノムカ如ナルヲ治ス
 防風ニ分桔梗ニ分川芎十兩細辛ニ分甘草五兩
 竜腦リウノウ薄荷ホウカ葉ヨウ薄荷香ニ分竜腦ニ分似タルエヘニ也
 右細末メ練密ニテツキ合テ一兩ニ分ヲハカリニカケテ一兩
 ニ分ヲ十丸ニ圓テ每服一圓ヲ嚙碎テ蠟茶ヲカヘリ湯ニ

テスリ碎テスニシテ可服食シキ后ニ及睡卧スニアタヘヨ
 一排風湯ハツフウ和劑方ワジ男子婦人ノ風冷ニソフナワレテ狂言妄
 語精神錯乱サカシ肝風起時ハ則面青心苦ニカラエツ
 キシ沫アハヲハキ眼メ下滿シテフクレ頭重目眩耳ヲホロミ音
 シ聞ス遍身シカレ乾筋アキソリカ、ニリテ卧心風シコル時面
 赤クメホトヲリ悲怒目ヲミハリテ呼喚ス脾風起時ハ則
 面黃ハミ身躰不仁行歩ス事アムハス飲食味ナク夢
 シトノキヲヒヘ死人ニ相逢ア又ヲ夢ニ見ル肺風起時ハ則
 面白クシワフキシ膿血ノウヲハキニ吐氣アカリ苦シム腎風

起時^{ツキ}則^{ナラ}面^{オモ}黑^ク手足^テ不^ズ隨^ハ腰^{コシ}痛^ク俯^ム仰^シカ^メシ^テ遍^ニ身^ヲ
シ^レ冷^ク骨^ヲヒ^キ痛^ム諸^ノ中^ノ風^ノ此^ノ相^{アル}ニ^通シ^テ
好^ク心^不定^常ニ^ホレ^テ物^ヲス^レシ^テ驚^マシ^テ治^ス

白茯苓 独活 麻黄^{根ヲシテ去} 白鲜皮^{或説ハホカニ根ナリ}

白木 白芍药 川芎 桂心^{双仁}

當皈^{酒ニ一} 防风 甘草 杏仁^{皮ハ尖木花ヲサレ小}

右鹿末^{夜後}メ每服三錢水一盞半入^テ八分煎^テ滓^ヲコシ^テ
温^ニ服^セヨ時^ヲ不^定日^ニ三^服セ^ヨ千金方^ニ生^姜四^片ヲ
加^テ煎^ス則^ニ三^服シ^テ一^切中^ノ風^平愈^スト^イヘ^リ常^ニ服^ス

ス^レ心^ヲカ^クシ^志ヲ^定カ^ニメ^取ヲ^トク^シ目^ヲ明^ニシ^藏
府^ノト^ク系^リヲ^去諸^ノ風^ヲ除^トイ^ヘリ

一八風散 和剂方 中風ノ風氣ノホリセメテ日クラク^{カシラ}頭^重ク

手足^ヲヨ^ヒ遍^身ノ筋^ヲツ^リホ^トラ^リヒ^キ皮^膚ニ^カク^ハ
本^元无^濟生^方一^句
按^ス此^一句^移上^文ノ續^命湯^方後^若茶^ノ一^樽加^テ服^スト^イヘ^リ
濟^生方^ニ加^テ秦^朮一^兩若^腹中^冷氣^{アリ}利^下ラ^ハ

黄芩^ヲ去^テ白木^一兩^計加^テ附^子ヲ^分量^ヲ増^テ入^ル
若^骨肉^冷痛^ハ肉^桂ヲ^増テ^入ヨ^若物^ニシ^ヒ驚^馬犀^角
ヲ^キサ^シテ^一兩^加ヘ^ヨ若^カラ^エツ^キ腹^ヲシ^テ六^人參^ヲ増^テ入^ル
半^夏ヲ^加ヘ^ヨ若^汗多^クラ^ハ麻^黄ヲ^去テ^若大^便ト^コラ^リ

テ下ラス胸塞リ苦ハ枳實ノウラヲコソケ捨テ細ニキ
サミテ小麦ノアラカスニセテカラクトイリテ大大黃一兩ヲ
加テ煎セヨ氣アカリ塞テ通セスハ沉香一兩ヲ加ヨ若
喉痰アリテ塞カラハ天南星ヲ紙ニツミテアウ灰ニ埋
テフククトムシテ取出メ上ノ皮ヲ削捨テウスクトキサミ
テ一兩加ヨ若物イハントストモ音ノウセタルニ杏仁ヲ
一倍メ入ヨ若身ホトシリ喉乾ハ麥門冬ト乾薑一兩宛
加ヨ遍身ヒラキ痛ハ秦シケウ花ヲカフヲ切捨テキサミテ
一兩加ヨ若氣揚リ面腫テアウキセハ防風ヲ一兩加ヨ凡此菜ハ久ク服メシルシアリ唯始ヨリ此菜ガリ

服スルハ聊シヤウニ氣塞ツテ惡アシイ変モアリ先ハ味順氣散ヲ
服テ後ハ如此病ノ姿ニ隨テ減シ加ヘテアツルニ愈
スト云フナシ是則五藏中風ノ摠カウヤク菜也又中風ニ何
レ菜ヲ服スト云トモ藜ソノ合圓サウヲ常ニシヘテ可服但
身冷手足ノウラ冷ハ藜合圓ヲ火ニアフリテカヘリ
湯ニテスリテ服セヨ是ハ第一ノ古實ナリ心ヲ委細
メ用ヨ

一附子湯ニ因方 五藏中風ヲ通シテ治スル也手足不仁ニ
口面喎斜目クテフヒテウリユカヒ目メクルメキ頭重カシラク音ウセ物イハス目ウルメキ

フトカイチカイテ 轉動スルヲアタハスニ氣トコヲリタルヲ

治ス

附子炮シテ皮ヲ削

桂心麋皮去 半兩

細辛

防風

人參

干姜炮セヨ各六錢ノ重サ

右咬咀シテ每服四錢水一盞半姜五片干枣二入テ

七分煎メ滓ヲモシテ食前ニ服セヨ或ハ細末メ每服

二錢ヲ酒ヲモテ可服ス

一乾薑附子湯 千金方 心藏虚寒中風シテ半身隨ス

骨節トケ離ルヤウニイタシ弱シテハタラカレス大小便

シケク下口面ユカムヲ治

乾姜

附子 各二兩

桂心

麻黃根節ヲ去

川芎

右咬咀メ每服四錢水一盞半生姜五片入テ一盞煎メ日

三服セヨ

一独活湯 三因方 中風物うつ事アタワス手足ナハ引テ

ヲサマラサルヲ治ス

白芍藥

枯薑根

独活

桂心 各二兩

甘草 二兩

右細剉合テ每服四錢スクイ水二盞生姜五片入テ六分

煎メ滓ヲモシテ後ニ生薑ツキシホリタル汁ヲ一合入テカキ合

テ服スヘシ

一温中生姜湯 千金方 肺中風ノ虚冷シテ瘦カレ手足
ナハ弱クフルイハナキ胸滿フクレタルヲ治ス

生姜一斤 桂心 橘皮 各四 甘草 麻黄 根フシヲサレ

右咬咀メ毎服四錢ヲ水ニ盪半入テ先麻黄ヲ煎ス

ニニトカヘラカシテ沫ヲステヨサテ一盪ニ煎ス

ヲフシテ洗フテ日ニニニ度可服ス

一白散子 三因方 肝藏ノ中風ヨリ喉ニツリ塞

心ホレテ物イワス痰沫ヲキ頭重ク目ルメキ上實下虚

臍

トテ胸ヨリ上ハミチ塞リテホトヲリ苦ク膝ヨリ下ハ虚
冷ニテ弱クチカラナキヲ治ス

大附子 炮セス皮ヲ 滑石 打破各 半夏 二兩湯ヲ以テワカシ洗テ

右細末メ毎服二錢水ニ盪姜七ケ蜜ヲ束メセ計入テ七分

煎メ生姜ヲ去テ茶ヲ滓ナカラカキ立テ空腹ニ可服ヒヤシ

テ服ス尤ヨシ此茶霍乱ノ窮吉ニ藿香ヲ少シ加ヘテ煎メ

可服ス

一三黄湯 三因方 中風ノ手足ツリスクニ百節疼痛煩熱

心ニタレサムケ立テ飲食スノニ半身不隨音失テ物イワ

サルヲ治ス

麻黄 根蒂ヲ去テ湯ニ入テ洗シテアワラ
出メ取出メカハカシテ一両一分

黄耆 半両

黄芩 三両 獨活 一両

右咬咀メ每服四錢ノ重水一盞半入テ七分ニ煎メ滓ヲ
コシテ時ヲ不定日ニ二三服セヨ汗出テ吉也若胸熱共
大黃半兩ヲ加コ腹脹ニ千ハ枳實ヲコシラヘテ一分カ
ハヨ若氣逆上共人參三分ヲ加ハヨ若心キセ共牡蠣三
分ヲ加ハヨ若咽乾ハ桔萼根ヲ三分加ハヨ若身寒共附子
ヲ三分コシラヘテ加ハヨ

一松節散 三因方 風寒 濕 冷ニソコナワレ筋骨ツリイタニ

行歩スル又モアタス諸ノムクツニリテイタニ疼ヲ治ス

茯神 心木 細ニキサシテ 一兩一分 乳香 一錢重サ 桂心 橘皮 各三兩

白朮 四兩 附子 炮シテモシラヘテ 五兩 甘草 二兩 大棗 三十枚

右咬咀メ每服三錢ノ重水一盞半入テ一盞ニ煎シテ滓ヲ

コシテ大麻仁ノスリタルヲ梅ノサ子ホト入テ又コシテ煎シテ

トカシテ日ニ三服セヨ

一防風圓 和劑方 一切中風ノ痰熱喉ツツリテ頭瘡生シ

寒氣塞リ調ス鼻塞テ物ヲカス声アサヤカナフサル

前イタニ教
十行當在也

治ス

人參 黃耆 甘草 防風 羌活 各十五兩

白芷 前胡 各五兩 藿香葉 二兩二分

右細末メ毎服二錢水一中盞薄荷葉少計入テ七

分煎シテ瘳ヲユシテ食后温服セヨ小兒ハ乳香ヲ煎

シタル蠟茶ヲスリトキテ此ノ茶ヲ半錢カキ立テアツク

歳ヲハカラヒテ加減メアタヘヨ

一清神散 和劑方 中風ノ風氣塞テ痰咽ニカクニリタルヲ

去テ及ヒ頭痛重ク目眩心弱肝キヘシ面ホトヲリ耳

鳴鼻塞声アサカナラス目口引ウコキ遍身ヒナキ

頭項筋ツリ胸咽塞ヲ治ス

薄荷葉 荊芥穗 各 羌活 防風

人參 白檀 各五兩 細辛 甘草 石膏 別炒

右細末メ毎服カソ湯ニテ可服茶ヲサシ入カテ服ス

食后ニ服ス

一七聖散 和劑方 風濕諸ノ筋入テ手足諸ノワキメナヘテ

不隨心足膝ヒナキ痛ムヲ治ス

杜仲 續斷 萸薺 防風 獨活

スラシテアツ灰カイコ埋ウツミテヨクくムシテ空服カニククキ啮碎アキメサケテ温酒アキメサケ塩少
ヘテ可服コシ腰ノイタミ珠イ真ニ吉シ

一省風湯和劑方俄ニ中風シテ齒ヲクイツメテ物云モ受不能ス

目口ユカ筋ツリ遍身ヒラキイタミ痰咽ニガタリ目メク

リタフシフ頭重目眩胸塞滿テ少ホトリ左右ハハナ

或ハクミ手足スクミ骨節ホトリイタミ行歩スル受ス

能ホレテ不定鬼昏々タルシ治ス及一切ノ風ニ通メヨシ

魚テモ是ヲ服ス六諸ノ風ノ病ナシ

防風四兩 甘草二兩 天南星四兩 半夏二兩 黄芩二兩

白水ニ浸シ一夜ヲ手ヲ洗シ燒シ

風

右吹咀メ每服四錢水二大盞生薑十片入テ一中盞煎

テ滓ヲコシテ温服セヨ時ヲ不定日ニ二三服

一黒神圓和劑方一切ノ中風ノ手足ナスクハナキスイ遍

身シヒレ肩背ツリイタミ骨節疼痛ヲ治ス及婦人ノ身

氣トテ下腰若六月水滯テシカモ風ニソコラレテ頭重目

眩暈ホレヨフキヲ治ス

牡丹皮 白芍藥 川芎 麻黃 赤芍藥

甘草 各高 荆芥穗 草烏頭 烏頭 何首烏

右細末メ米粉ヲ水ニ糊リニリテウキ合〇是程ニ丸メ每服

各六兩 各六兩 各二兩 各二兩

根節去 各四兩 各二兩 各二兩

白水ニ浸シ一夜ヲ手ヲ洗シ燒シ

三九噉碎テカリ湯ニ茶ヲ立酒ヲサシ入テカキ立テ可服時
ヲ不定日ニ二三服婦人ノ血風ハ豆淋^酒テ服セヨ豆淋酒ハ
黒大豆ヲイリテアツカラ酒ニ打入六大豆ノ汁ノ出タルヲ以
タテテ可服頭痛ハ茶ヲカリ湯ニ立テ葱ノ白根ニ三本ヲ
カミテ茶ニカミ合可服窮効アリ

一香芍餅子葉氏方諸中風頭痛サムケ立筋ツリナツキ
重ク目眩遍身疼痛鼻塞声アサヤカナラズ常ニアツヒシ
鼻ヲヒルヲ治ス又目暗冷涙目ノ中ニ浮赤筋多白眼ニ
肉ムラシイ出及面ニ黒アサハツ口出来リシ頭カクツ髮ノ根ニ

白イロコ多シコレ皆風ナリ此ノ茶通メ是ヲ治趙良實
ト云人之傳也

天麻 一兩カラヲ 川芎 五兩 白芷 二兩

右細末メ密ヲ以テ搗合テハリ二兩ヲカケテ二十九ヲヒラ
ツリテ餅如クニメ毎服一ツ酒ニテモカリ湯ニテモ可服
茶ヲ立テモ噉碎テ可服ス

一川芎茶調散 和劑方 男^{モウ}女ノ諸中風ノ氣アカリテ頭
重ク目眩頭イタクシテヒラキ鼻塞声ヲホル及婦人
血氣ヲ治ス

一作風

川芎

荆芥穗各

白芷

羌活

甘草

炒之各

防風二兩

細辛一兩

薄荷葉

火ニアテス

香附子

各八兩

右細末メ毎服二錢食后ニ茶ヲ立テ入テ日ニ二三可服ス

一防風散 聖惠方 中風ノ声ヲ失テ物云事不能目ヲ塞テ

不開イキ短ク呉リテ死ナントスルヲ治ス

防風二兩

羚羊角一兩

独活一兩

赤箭一兩

當飯

杏仁一兩

秦艸一兩

麻黄一兩

桂心一兩

前胡一兩

甘草 右細末メ毎服四錢水中盞入テ生薑ニ片テ

六分煎テ滓ヲコシテ温ニテ時ヲ不定日ニ二三服

一附子散 同方 中風ノ声ヲ失物イワズ手足冷ホリテ腹

赤似タルヲ治ス

麦門冬一兩

甘草一兩

桂心一兩

附子一兩

細辛一兩

乾姜一兩

独活一兩

當飯一兩

白朮一兩

右細末メ毎服四錢水中盞入テ六分煎テ滓ヲコシテ

眩ヲ不定温ニテ日ニ二三服セヨ

一烏金煎 同方 中風ノ音失イ物イハズ胸ホトシリ頭イタム

ヲ治ス

黑豆一升

羌活二兩

独活

荆芥穗二兩

右細末サイコ先コ黑豆クワハカリヲ水五大盞入テニシラカシテ豆ヲ
 捨テサ残ノ葉コ皆入テ十度ハカリニカハラカシテチ好ヨキ
 酒サケヲ一升入加テ子ハクトナル程ホト煎メ瓶子ビンノ中ニ入テ置
 テ每服胡桃ノカタワレ程ホト温酒アツメニテ可服
 一防風散ボウフウ同方中風ノ目メ口クチ方カタニ手足テ不隨スレ風藏セニテ物云
 不能ス心ココロホレ神カミクラキヲ治ス凡中風ノ口クチユカムカ夏ハスキ
 下風取ノ穴アナヨリ入テユカムカ夏ヲナス也深クシムヘシ
 桂心ケイシン二兩 川芎センキウ二兩 羚羊角レイヨウカク細コ心シン 麻黃マワウ二兩
 杏仁アンジ二兩 蒼朮ソウジュ改仁カイン二兩
根節去

右劉合リウカテ毎服四錢水一中盞入テ五分煎メ滓カスヲコシテ
 温カニ服セヨ竹瀝チクレキヲ入テ天煎メ可服尤吉温服アツカメ少シ
 汗アセヲクダラスヘシ

一方 夏證方 中風 自口クチユカニタルヲ治ス

黃麻子ワウマシ 東トウヘサシタル枝エダノミ七粒 西セイヘサシタル枝エダノ實ミ
七粒トリテ皮ヲムキ捨テ子ハクト子ヤシクタケ

右ユカニタル方ノ手テノウラフノ心ココロニ餅モチノヤウニ平メテツシ付テ
 土器カクラナニテモ又チ井サキカ子コノ盞サンキ若小茶ワコチマ銚チウノ様ナル
 物モノニアツキ湯ユヲ手テニコラユル程ホト入テ茶ノ上ニスヘテ持ツヘシ
 スルウナラハ湯ヲ入カユクスヘシ但シ口クチノユカムニ付テイニシシヨ

人心得^エタル^ハ目^メ口^クツリタル^方ハ中風^ニ逢^アタル^方ト云^フレノ
ヒタル^方ハ病^ヤナキ^方ト云^フ是^レニヨリテ桑^ノカキヲカ^ルル^モ
ツリタル^方ニカ^ル也^是ハ可^レ然^ス其^故ハ中風^ノ病源^ヲミ^ル
喝^ヲ斜^ヲ尺^メ云^フ邪^ノ氣^ハユ^レ正^ノ氣^ハ急^{ナリ}平^ノ氣^ヲ引^テ
喝^科僻^{シテ}隨^トヘリ^コニシ^ラ又^ハ中風^{シタル}方^ハユ^ルウ
シテヒカ^レタ^ニシキ^方ハツ^ルナリ^是ヲヨ^ク心^エテ引^ツス^レテ
ノヒタル^方ノ手^ノ心^ニ此^ノ葉^ヲ付^ヘシ^コニ桑^ノ木^ノカキ^ヲカ^ケ
シ^又モツ^ラレタル^方ニカ^ケコ^ノユカ^ミヲ引^キナ^ラス^ヤウ^ニス^シ
尋常^ノ人^ノ知^ル處^ニハ大^ニカ^ハリ^テ心^エタル^也又^ハ巴豆^ヲ七粒^ヲ

皮^シム^キテ子^ヤシ^テ如^シツ^ル也^少モカ^ワラ^ス但^シ巴豆^ハ大^ニ
毒^{アリ}能^ク洗^除ヘ^シ巴豆^ハナ^ラシ^ル速^{ナリ}常^ニ葉^ヲ
塗^{タル}方^ノ手^ノ中^指ヲ引^展ク^スヘ^シ

一方^ニ千金^方口^眼喝^斜ヲ治^ス

皂^莢一^兩皮^ヲ右^細末^メ三^年ノ古^酢ニ子^ハク^トキ

テユ^カニテツ^ラレタル^方面^ニ塗^ヘシ乾^ク又^ハ塗^ヘシ窮^テル^シアリ
一方^ニ千金^方口^眼喝^斜ヲ治^ス

右^葶葶^ノ筒^ヲ長^五寸^ニキ^リテ隻^ノ身^ノ穴^ニテ^キキ^マシ

小^麦ノ粉^ヲ水^ニテ^コ子^テ塗^フサ^キテ今^片方^ニ黒^{大豆}ヲ

一ツシカイテ其大豆ノ上ヲ大ナルモクサニテ七壯灸スヘシ
火氣耳ニ入テ必^{ホラス}シシアリ是モツラレタル方^ミ耳ヲ可^シ治ス
己窮テ^{チウキテ}交アリクヤスク人ニ不可^{フク}得

一醒風湯 葉氏方 中風ノ左右或ハナヘ或ハスクミ目口ユカミ
筋ツリカ^{一本作謝如常}ニ^{チカラ}行歩不能ヲ治ス

附子^{一ケ炮セスメ皮} 天南星^{シウウ} 白朮^{半両} 當飯^半
木香^{半両} 烏藥^{三錢} 白附子^{半両炮} 防風^{半両} 白芍藥^半

古麩末ノ毎服四錢水一盞半姜七片入テ八分ニ煎テ
滓ヲ^シテ温^ニテ眩ヲ不定可服日ニ二三服

一加減三五七散 簡易方 八風トテ八方風ニゾナワレ五痺

トテ身ノシヒル、夏五種アリ及手足或ハナヘ或ハスクミ
テ足ヲ引^{ヒキ}目口ユカミカタヒキウナシ^{セナク}月ツリカ、ニ齒ヲツ

イツメ胸ノウチホトヲリク^{カホ}シミ顔色酒醉タル如ク遍
身發熱シ骨^{ホネ}ヲ^シホトヲリヒ、ラキハタヘシムラヒヒ腰膝

ハタラカサレス頭重目眩或ハ虫ノウ様^{チウヤウ}覺頭痛^{チウツウ}風腦^{フウノウ}
ニ入^フ舟車ニ乗タル様ニ覺^{チウヤウ}ヘ耳^{ミミ}ノウチ蟬ノ鳴聲アリ或ハ雨

風ノ声ヲ聞テ治ス此茶又寒^{サム}濕^{シツ}ニカサテ身^ミヒシ及脚氣^{キョウキ}
足弱^{ソクジク}尤モ吉シ

防風散 山茱萸 附子 茯苓 乾姜 右細末ノ每服二錢ヲ温酒ニテ

可服

一山茱萸散 聖惠方 頭風及目眩身痛ヲ治ス

山茱萸 防風 川芎 甘菊花 細辛 天雄

山藥各半 右細末ノ每服二錢温酒ニテ可服

一三聖散 是存方 手足ツリ目口ムカニ 脚弱ノカナク行歩

夕ニシカラス及疾咽ニツルヲケシトカス也又ハ舒筋發トナツ

當歸 肉桂 玄胡索

散

右等分ニ細末メ毎服二錢温酒ニテ空腹及臨臥日ニ

三服セヨ懷妊ノ者及老人小兒ニ通テ皆可服

一醒風湯 同方 男子婦人ノ中風ノ左右或ハ大或ハ小ニ日

口ムカニ或ハ口ヲ塞齒ヲクイツメ全物ヲ不能半身不隨

手足シヒレ子マリ一切風ノ病ヲ去

天南星 洗テキリテアフレ 甘草 二兩アフレ 防風 四兩

右麩末メ毎服二錢水ニ大盞入テ一中盞煎シテ空心温

酒可服 頭痛目眩ニ尤吉シ

一苓朮湯 三因方 夏暑氣ガカサレテ雨ニヌル 收暑ト濕ト

氣ムシムスボレテ俄ニ中風メ手足不仁半身不隨骨
ツキメナレヌケタルニ覺或沐浴メ俄ニ之倒目口カミ
手足ナヘヒク是ハ濕暑者ニカサレテ如此也常中風ハ聊
ユト也

附子 炮メ皮 茯苓 白木 乾姜 炮 澤瀉 切テ酒ニ浸シ

杜心 各等分 右麩末メ每服四錢水一盞半入テ七

分煎メ俾テ食前ニ可服

一五痺湯 簡易方 風寒濕ニ相侵シテ痺病ヲ生ス
五痺ハ筋痺 脉痺 肌痺 皮痺 骨痺 是也 五藏各

是ヲアツ此疾此ノ痺ヲ通メ治ス 風寒濕ノ三人ハタテ
侵ハ手足ナヘ弱クシヒレイタニテ不仁也 或ハ氣血ニヒレ
滯リテ行セサルヲ治ス

羌活 防風 姜黃 白木 各兩 甘草 半兩

右咬咀メ每服四錢水一盞生薑十片入テ八分煎メ俾
テ服セヨ 取ヨリ 食後ニ可服 若腰ヨリ下シヒハ食

前ニ服セヨ

一漢防己散 聖惠方 中風ノ口ヲ閉齒ヲツイツメテ不開ス
脉カ、エツリ身熱モ夕ハ苦ヲ治ス

附子一兩炮 甘草半兩 桂心半兩

右細末練蜜子三匙子皂莢子子ノ勢子丸子メ每服一丸子温子メ酒子ニテスリテ子開子テ可子立子効子アリ

一方千金方中風口子開子齒子ノイ子ツメ物子ヲ不能子治子

防己 桂心 麻黄各二兩 葛根三兩 甘草

防風 芍药 生姜四兩

右咬咀子メ每服五錢子重子サ子水子三子大子盞子ヲ入子テ一子盞子半子煎子マ子滓子ヲ子コ子シ子テ子温子メ子テ子口子ヲ子開子テ子常子ニ子ア子ク子ハ子ヨ子此子茶子瘡子瘰子ヲ子治子ス効子アリ

一方独活子西子清酒子ニ盞子入子テ一子盞子煎子マ子滓子ヲ子コ子シ子テ子温子メ子テ子服子

分子テ可子与子

一麻黄散 聖惠方 中風ノ身子體子ナ子ハ子弱子メ目子口子ヲ子カ子ニ子舌子強子シ

テ物子ヲ子不子能子心子ホ子レ子テ子モ子々子ハ子苦子ム子ヲ子治子ス

麻黄二兩 防己一兩 黄芩一兩 桂心一兩 人參一兩

附子如常 右鹿子末子メ每服四錢子水子一子中子盞子入子テ子生子姜子

五片子加子テ子六子分子煎子マ子滓子ヲ子コ子シ子テ子温子メ子テ子服子ヲ子不子定子日子ニ子三子服子

五七服子与子

一方同方 中風ノ舌子根子強子テ物子ヲ子不子能子治子

雜

三年ノ古味噌五合乳汁五合 右二色トウシ等分カニスリトキテ布スヲ以テフシ、ホリテ少シシ、与テ常ツツニ可服又香根シクニモ

ヒニナクヌルヤ、ヒサシクヘシ良久メ可物云フ

一治血丹チクタン 諸峰方風氣侵テ片方ノ足膝ニカチ漸セシクニ瘦ヤセ

ナソリ脇肋ノスチワリ膝ハキスチ同ツリ痛テ行歩心ヲカ

ラス或ハ手足共ニ瘦ホソリ及病後ニ口乾血不足ニナリ

テスチ骨ニカチキツ治ス

地黄チワラ 高白芍薬シヤクヤク 當飯タウキ 續断ツクタン 白朮ハクニク 各一両

右細末メ米ノ粉ヲ酒ヲ以テ糊カチニ子リテ搗合テ〇此程コト丸メ

每服世丸ヲ温酒ニテ日ニ三服等足ノ愁ウレハニハ食前シヨクセン手ノ

愁ウレハニ食后シヨクコニ可服

一方是セサヤ方中風ノ十指ノヒラキ痛イタ痺シセルヲ治ス

附子フシ 炮ヒ 南木香ナキウ 各等分

右鹿末メ每服三錢水ニ盞生薑七片入テ一盞ニ煎シテ

滓カスヲコレテ可服手ノ指痛ユキイタムニハ食後シヨクコニ足ノ指痛ユキイタム食前シヨクセン可

服若氣滯弱ハ南木香ヲ増テ多ク添ソベヨ若足弱ユキイタムナハ

タラハ附子フシヲ去テ烏頭ウツヲ炮ヒメラシテ入ヨ甚効アリ此

柴昔孫盈仲ト云人常ニ指ユキヲ痛イタムヌテ愁ウレハテ其祖ソコ此

茶アツルシツ与ツニツ竟ツニツ愈ツ是ツ風病也

一方經驗方一切中風好諸ノ風病ヲ治ス

稀菴詳キ有青韻餅ナモ一説ニ犬シリト云コハシカラス
但シ何モ吉ナリ本書ニ云異説ナリイマモナモナモナリ

右五月五日ニ莖枝葉ヲ皆トリテ湯ヲ以テ能ク洗テ曾
入テ蒸テハサラシ又蒸テハサラシ九度ムシラシテ後ニ木
臼ニテ搗フルイテ米ノ糊粉ヲ水ニテ練リテ搗合丸メ毎服
卅丸ヲ温酒若ハ飯湯ノ湯ニテ空心ニ日ニ二服スハ諸
風ノ風病ヲ除服メ二千丸ニ至ラハ中風漸ニ愈四千丸ニ
至ハ病悉ニ愈五千丸ニ至ハ本ニ復也猶服メ止サレハ身

訃訃

強力盛モラサカシニシテ長不起ツマ中風ハ第一ノ糸也昔江陵府

節度使成調ト云者ノ弟訃ト云者アリ卅一歳ニメ

大中風メ床ニ卧テ五年諸ノ醫方悉イヘタキニ試用ルニ不愈忽

道人ニ逢テ此茶ヲ傳服メ則愈此茶ヲ服メ則子ハチユルヤ

粥若シ米湯ヲ服メ茶ヲ押下スヘシ五月五日ナラフストモモシ

シトナシク成タル取タル殊ヨシ好又ナモト餅モチナモト同

也又也シイノ様ニ實シチルヲハナモト云黄ナル花ノサキテ

馬牛ノ髪ニ取付ナモトノ葉子ハト手ニ付様ナルヲ用

也犬ノ尻ヲ茹菴ト云説アレトモ其ハ不可然見ヘタリ

疾

一稀涎散 王氏方 中風ノ疾ヲ治スル第一ノ方也

皂莢

虫ノ不食ヲアラ皮ヲソクケ去リテサ子ヲ捨ヨカラクトホシテスリフルヘ大ナル五

礬石

末セヨ

右能カキ合テ每服一錢若ハ半錢計ヲカリ湯ニカキテ

可服暫有テ沫ヲ吐ナリ不吐涎ヲスル也 是中風心ホレテ

酒醉タルカ如シ手足ナテ不収或倒卧或睡口ユカ目

暗ヲ治ス多治セハ氣塞リ痰咽ニツリテ余ハホテ雖施

无効此茶ニテ痰ヲヨククトカシ又ハハ氣通シテ心モ出

来シカモ生スルナリ

一方同方 三年ノ中風ノ不愈ヲ治ス

ヲソク

誥

松葉

右細末酒ヲ以テ煎テ常服メ汗少ツクラスヘシ

一方千金方 中風ノ顔頭腫タルヲ治ス

杏仁

右皮ヲ去テ去子ハクトスリテ腫タル上付カヘクスヘシ

一方孟詵 中風ノ昏カレタルヲ治ス

梨子

春シホリテ二四分リ可服日ニ二三服

又方 橘皮

コク煎メ可服 桂心ヲ細末メ少シワ舌ノ上ニスリテケ

一桂心散

聖惠方 賊風心腹ツリ強手足疼痛ニ腹フ

クレテ死ナントスルヲ治ス

桂心

防風 川芎

乾姜

吳茱萸 湯ニヒタシテ七返アラフテ 秦艽 一兩 芦根

甘草 二分 檳榔子 三分 枳殼 湯ニ浸メウラフコト捨テ細キサミテ小麦ノカスニセテ半兩

右鹿末メ每服四錢水一中盞六分煎メ滓ヲコシテ眩ヲ

不定温ニ服ス日ニ二三服賊風ト云ハ冬至ノ自南方吹

風ニ當ル其風ニソコナレテ此病ヲ得ル也則何トモ覺ヘ

子此風ハ肌ニ入籠リ肉胸疼痛久シテ愈ハ骨ニ透リ

テイタキ也痛ク夏ヤマサレハ久シテ公子ニソテ瘰癧ト云

者ニ丸附骨疽ト云物ニ成テス骨ノ下リ損也急可

治也又冬至ノ日風ヲフカク可慎

一大續命湯 聖惠方 賊風ノ身ヲセメ及五藏ニ入テ物ヲ

滯神暗ホレテ肩背ヲスシヒレテ身ハタラカス莫

不能ヲ治ス

麻黄 根フシテ 石膏 半兩 桂心 三分 甘草 二分

川芎 三分 乾薑 三分 當歸 三分 黃芩 三分 杏仁 三分

右鹿末メ每服四錢水一中盞入テ六分煎メ滓ヲコシテ

眩ヲ不定温ニテ日ニ二三服セヨ少モ汗ヲ出スニテ可服ス

一方玉氏方 賊風及瘧風ヲ治瘧風トハ身ノスクニテハタラカヌ

中風ナリ鐵屑ヲ熱炒テ極熱スル酒中入テ酒ヲ常飲也

一麻黄散 本事方 瘧疾風トテ手足骨ノ物カフル様ニ
痛ヲ治ス 尋常ニ是ヲカラ脚病ト云是中風類也
病ノ様物ノイタリカフル如也故ニ是ヲ又虎噬風トナリ

又白虎風トス

羌活 兩 細辛 黃耆 各半兩 麻黄 一兩 黃芩 五分

右藥末メ每服五錢水二盞入テ八分煎メ滓ヲ濾シテ温

ニテツ、ケテ四五服メ汗ヲ少シタラシテ風ヲ恐ルヘシ常ニ服メ

カレシ
交アリ

一羌活散 聖惠方 白虎風ノ骨髄疼痛テ或起固或

不起ヲ治ス 白虎風ト云風寒暑湿白毒人ノ經脈入

テ侵ス 眩ハ血氣塞テ不通 漸骨節間トナリ居テ

此病ヲ生ス 肉ノイロ変ヌ ナシ只スチ骨ノ口ニ痛也 此病

昼ハ少静ニメ 毎夜起其痛骨髄ニ透テ忍ヘカラヌ

此夏虎ノ破カ如シ 白虎風トナリ 瘧疾風ハ痛ニ病

交同ケレトモイキ 短汗タリ 手足ノスチツリシカニ事

自在ナラス 是ハ酒醉テ毛孔ノチキタル眩風ニ多リ 若

沐浴メ汗出タル眩風ヲヒキタル者 此病ヲ得也 病源少

殊ナレトモ其痛是同也 故ニ治方聊可ニ用ナリ

羌活 側子炮炙皮脂ヲ去テ 秦艽シキヤウカフ 桂心ケイシン 木香

川芎 當飯 牛膝 附子 骨碎補各一両

桃仁世粒湯ニヒタシテ皮トカリヲ去テ

右剉合テ每服三錢ノ重サ水一中盞生姜七片入テ半分

煎メ滓ヲコシテ眩ヲ不定温服セヨ日ニ二三服濟生方

側子除テ防風一両甘草二分加テ尤好シ

一防風散同方白虎風遍身ヒラキ痛ニテ膝ハホト

シルヲ治ス

防風一両 地龍チリウニ両水ニヒタシテ 漏蘆ニ両

右細末メ每服二錢若三錢温酒ニテ日ニ二三服

一桂心散同方 歷癰風疼痛スルヲ不可忍手足及

ツキメノカナキヲ治ス

桂心 丹參 牛膝 附子 當飯

赤芍藥 木香 草薢 麻黃各一両

右麩末メ每服水一中盞生姜三片入テ半分煎メ

滓ヲコシテ食前ニ温服スヘシ猪突及諸冷物油氣物忌ヘ

一麻黃散同方中風ノ腰背ソリツリテ身ヲハタラカス受

不能口ツクテ物云事不能忽ニ死ナントスルヲ治ス

是ヲハ海弓反張トナツクヲソルカトシ故ニ俗是ヲ
ソリノ病ト云是也此茶ニ吉

麻黄 二両 防风 二両 羚羊角 二両 獨活 五加皮

前胡 桂心 附子 人參 當飯 二両

石膏 二両 杏仁 二両 甘草 二両 川芎 二両

右鹿末ノ每服四錢水一中盞生姜二片入テ六分ニ

煎メ滓ヲフシテ晝ヲ不定日ニ二三服温服スヘシ

一續命散同方中風ノ齒ヲクイツメテ身軀ツリスクニ

引ノル如メ死ントスルヲ治ス

獨活 二両 防风 二両 麻黄 二両 附子 二両 細辛 二両

川芎 二両 桂心 二両 杏仁 二両 當飯 二両

右鹿末メ每服四錢水一中盞生姜二片入テ六分煎

メ滓ヲフシテ温ニテ晝ヲ不定服

一防風散同方人身虚メ汗多タリ常ニサムケテ汗ヲ止

ハナク多治ス

防風 二両 澤瀉 二両 牡蛎 二両 燒ササ木 二両 桂心 二両

右細末メ每服二錢米飲ニテ晝ヲ不定日ニ二三服皆諸ノ

アフリ物溢麵ヲ忌ル其又トナク汗タルハ自汗ト云

夜子イロトキ不知タル汗ヲハ盜汗トナク是皆風ニツ
コナワレテ出ス処ナリ故ニ中風ノ中ニ是ヲ明ス又人ノ生
滯ト肌毛孔開テキヒシカラザル者風ニ侵易ク此
病ヲ得タリ又ハ肌細ニ毛孔キヒシケレ共或ハ酒醉テ風
當或ハ娯事ヲ行メ風シヒキ若ハ食事終テ風吹ハ
陽氣少クメ汗ヲヒカス故ニ汗タル也汗タル者身
中乾水ヲ飲小便少シス干骨ニカシシ汗ハ是身ノウ
ルヲイハ皆血也血ハ肝ニ收テ然モ心ツカサトル故ニ
汗多ク出ル眩ハ血乾血ニ盈ハ心ホレ目暗物ワスレ今人

或ハ沐浴湯治シ或ハ温室ニ入テ風ヲ治スト云テソノヨ
汗ヲタラス夏アリ極テヲ口カナル夏也汗ハ陽氣ナル故
汗タル身弥冷シカレ風也ト云テ弥汗ヲ失ヲ口カレ
夏也昔宋范雲ト云人傷寒ヲ病徐文伯ニテ云
此病ハタラスク愈スヘシ但シ愈トモ二年ノ後必死ナト云
范雲カ云ク我聞朝道シキイテ冬ニ死トモ可治ト云リ
何況二年ヲヤ文伯火ヲ以テ地ヲ燒テ桃ノ葉ヲ敷テ
上ニ席ヲシキテ其上ニ范雲ヲ卧テ汗ヲタラス次日則
愈范雲甚喜文伯カ云不足飲果シテ後二年アリ

死是汗ヲ出ス故ニ立処ニ雖愈汗ヲ失故ニ命ヲツ
ル者也是以古人ハ皆汗ヲ惜事財ノ如クニス醫
道ツツナワイヤシキ草一旦心地好トイフテ汗汗
ヲタラス又尤シロカナル者也但シ傷寒若ハ風病肌
ニアリテイハ肉骨ニ入サル時少汗ヲタフシテ愈又
アリ其皆其命ヲ定タリ能ク心工分テ汗ヲタラ
スヘキ也

一牡蠣散

聖惠心方ノ、口ニ汗タリ氣弱ヲ治ス

牡蠣ハキエシヤキ

白朮

防風各二兩

右細末メ毎服二錢ヲスユニテ眩ヲ不定可服ソ、口サ
ムクハ防風ヲ一倍セヨ汗尚不止ハ牡蠣ヲ一倍テ加ヨ
一人參散同方

人參二兩

牡蠣二兩半

石膏二兩

甘草二兩

右細末メ毎服二錢ヲスユニテ眩ヲ不定可服ス
一牡蠣散本事方 虛勞ノ盗汗ト、ニラサレテ治ス

牡蠣ヤクシ

麻黄根

黄耆

各等分

右細末メ毎服二錢水一盞入テ七分ニ煎メ温ニシテ眩ヲ
不定可服ス

一茯苓散 活人書 脾虛メ盜汗タルヲ治ス

白朮 二兩 白茯苓 二兩

右鹿末メ每服五錢水一盞半生薑三片干朮二入テ

八分煎メ滓ヲコシテ空腹食前ニ可服ス日ニ三度

一防己黃耆湯 活人書 證方 傷風及濕寒侵テ脉瀉緊

細ニメ身重汗多タリテ不止ソ口寒シ風シイトツヲ治ス

防己 四兩 黃耆 五兩 甘草 二兩 白朮 三兩

右鹿末メ每服五錢水一盞半生薑五片朮二入テ七分

煎メ滓ヲコシテ空心ニ可服アヘキ者ハ加麻黃

右證方一作書

一方本草并明證談 自汗盜汗ヲ治ス

桑葉 曝乾置テ 右細末メ每服二三錢温米湯ニ可

服此葉始不信今夏天人多汗ヲ愁此葉ヲ教テ

服セシムルニ立効アリ是ニヨリテ深秘スル也但二三錢

若三五錢ヲ日ニ四五服六七服スルニ極テ効アリ久服ニハ

殊ニ好盜汗人ニ与ルニ多愈易ク人ニ不可傳桑ヲ取夏

朝露ノルニ取テ則アフリホシテ細末セヨトイヘリ

又秋枯テ自落ヲ取乾タルモ好雖然新取タルニハ不

レリ又一説ニ新ニ取聚テ餅ニ入テヤハクト蒸テ火ニコフ

リテ末セトモイ何モ同シ義也ヨリ可秘ス

一防風散 聖惠方 風寒上焦塞テ頭痛クシテ口乾シ治ス

身熱タルニ好冷タルニ惡ナリ

防風 菊花 赤芍藥 各二兩 石膏 四兩 芎藭根 二兩

柴胡 二兩 蔓荊子 甘草 杏仁 各二兩

右麩末メ毎服四錢水一中盞入テ生姜三片加テ五分煎

メ滓ヲコシテ取テ不定温服ス令熱麵蒜已之

一方 同方 頭痛ヲ治ス

胡粉 二兩 硫黃 二分 右スリ合軟飯ヲモテ子ヤシ合テ丸

〇是程ニ

メ頭痛起取冷水ニテ五丸ヲ可服良久メ又可服効

ナクハ七八丸可服

一方 同方 頭痛ヲ治ス

丁香 一分 香白芷 二分 瓜蒂 一兩

右細末メ常ニ發取大豆ノ勢ホト筆ノ管ニテ鼻ノ

ツク可吹弱吹ハ頭ノ上何モ強ク可吹入度ク吹ハ必

不登但是ヲ吹取病者ノ口水ヲ含テ後水ヲ吐捨サス

令其故ハ藥鼻ヨリ咽ニ入テスル也又アル故ニフカル人ノ

水ヲクニスル也諸ノ鼻ニ吹葉ハ皆如此也是不可限

又藥鼻ヨリ頭痛入テイラクトシム夏ヤカテナラル也
ナラニワシテ頭痛愁則去頭輕トナル也此藥極
テ効アリ深可秘ス

一方 同方 頭痛シテ不可忍ヲ治ス

蒜ニツ 右皮ヲムキテスリテ汁ヲ病者ノ面ヲアツテ

キニ臥テ筆ノ軸ニスクイテ鼻ノ穴ニ可入病人イキヲ

引テ紫ヲ鼻ニ強ヒキ入ヘシナツキニシテ涙タリテ

必愈

一方 同方 頭痛或ハ片頭痛ヲ痛ニテ不可忍ヲ治ス

頭

苦辛ニ分 半夏ニ分 桂心ニ分

右細末メ吉酢ニ子ハクトキテ紙ニ塗テ頭痛ハ所

ニ押付テ置テ少ハ又新敷ク付ヨ極テ効アリ

一點頭散是亦方偏頭痛ヲ治スカタ頭痛ヲ偏頭ト

云両方頭痛ノ正頭痛ト云ナリ

川芎ニ高 香附子ニ高 右細末メ每服一錢ヲ吉

茶ヲ立テ入テカキ立テ可服食後常ニ服スハ長平愈

一方 本事方 偏頭痛風ヲ治ス

右蘿蔔ノ自然ノ汁ヲキホリ鼻ノ穴ニ仰ノケサニニ

子サセテ根ヲサケテ入ヨ左ノ痛ハ右ノ鼻方入ヨ右ノ痛ハ
左ノ鼻ニ入ヨ左右トモニ痛ハ両方入ヨ入サセテハイキヲ
ツヨク引テ茶ヲナツキハ可引ハ此茶十年ヨリ久ク頭
痛ヲ皆愈スキハメテ効アリ昔王荆公ト云レ者頭痛
ヲ愁事十二年此茶用忽愈后諸人治スレニ不愈下
云一ナシ

一神效圓 本夏方 頭痛及腦風ヲ治ス
鹽 硫黃 右等分細末小麦粉ヲ水ニテ子ツク
トキテ火ニスヘスシテ只ナシニテ茶ヲ入テ搗合丸毎服

十五丸ヲ薄荷ノ煎物ニテ茶ヲ立タルニテ食前ニ可服
荆芥ノ煎物ニ酒ヲ少シ入テ服スルモ好但食後ニ服セシハ
猶ヨカルハキカ

一茶調散 夏證方 偏正頭痛ノ諸茶無効ヲ治ス是
天下第一頭痛ノ茶也トイヘリ可秘

香白芷 川芎 甘草 川烏頭

右細末メ毎服二錢ヲ薄荷ノ煎物ニ茶ヲ立テ此茶ヲ入テ
カキ立テ食后ニ日ニ三服スヘシ若傷風頭痛夏難
忍ハ葱ノ白根ヲ加ヘテ煎シタルニカキ立テ可服ス

葉

一藥氏方云凡諸中風六七處元ヲ灸スヘシトイヘリ是中

風ノ摠也

一六百會百壯度ニ灸ス 二三耳前ハカミキヤ 除世一壯 三六肩井七十壯

四風市百壯 五三絶骨百壯外踝上 六三曲池五十壯

七三足三里二百壯或五百壯若六十壯 右七穴皆口傳ヲモテ知

ヘシ但クニ百會ハワラスヘテ結合サテ左右サテ身中ニ有カトヨリ頂イダキヲ

スクニ引渡キマメアテ切キリテ二重エ折フリテ中ニ眉ニアイニアテ、

頂イダキヘケラヘテ及ヲ所トコロハシテ灸キウス右ニ旋毛センモウ中ニトイヘリ是ハ皮ハ

旋毛センモウノ座席セキ人ニヨリテ皆ニカワル是ニヨリテ今ノ如クスン

古

法ヲ取テ此ニルヲサスヘシ次ツキニ耳ニ前ニ髮カミ際キワト云ハ身ニ中ニ

トカリノ髮カミノイニ際キワ也ナリヤスキ取トル也ナリ次ツキニ肩井カミハ肩井カミニアリ

指サシヲ三打ツウチフセテ肩カミノサキノ方ニ井ニ有アルホトヘ指サシヲキヒシ

クヨセテシヤヘテ中ニ指サシノアメルトコロ也ナリ次ツキニ風市カミハ膝目カミトテ

膝カミカフラノ下ニ両方ニホル穴ナリアリ其ノ膝カミノ外ニ目ニヨリテ

指サシノ寸ニシハイテ九寸ニ去サツテ外ニ股カミ大ニスキニアイクホメルトコロ也ナリ

アリ此ハ穴ナリ居テススハ如此ニルヲサス若シ卧シテ効ニヲサス臥シハ

ソハサニ臂ニ枕ニメ卧シテ下ノ足ニハ膝カミヲカメテ下ニキキ上ニ

ノ足ヲハ指サシヲ延ヒテスクニ子テ上ノ手ヲスクニ人ニテ股カミ上ニ置キ

テ其手中指^{サキニ}當^カ取^ト灸^{キウ}スル也又立^{タテ}テ灸^{キウ}スルハ
スミ立^{タテ}テチシノヘテ^モ股^コ手^テ指^{サシ}アスル取^ト也何^{ナニ}ヤシ様^{サマ}モ股^コ
ノスコシクスミヨリテ^{スチ}筋^{スネ}ノ太^フクテ^ニ尻^シアワヒテ^{サシ}押^{オシ}テ見^ミレハ
答^{コタヘ}ヲサスナリ立^{タテ}テ^{カシ}灸^{キウ}ヲサハ立^{タテ}テ灸^{キウ}セヨ居^イテ^{カシ}灸^{キウ}ヲサハ座^ザテ
可^ス灸^{キウ}臥^{フシ}テ^{カシ}灸^{キウ}ヲサハ臥^{フシ}テ可^ス灸^{キウ}是^スニオラス諸^{モロ}ノ灸^{キウ}モ如此^{コト}
次^{ツギ}ニ絶^{ツツ}骨^{ボネ}ノ足^{タラシ}ノ外^{ソト}ノ踝^{カネ}上^ノトヨリ骨^{ボネ}ヲツツテ上^ノハ俄^{ニツク}骨^{ボネ}
ヒキク成^{ナリ}テクホメル取^ト也假^カ令^シ踝^{カネ}上^ノアカル灸^{キウ}ニ寸^サ計^ケアリ
次^{ツギ}ニ曲^{カマ}池^チノ辟^{ヒキ}月^{ツキ}ヲカ、メテ外^{ソト}ノ方^{カタ}ニシワナキニアリ^次。且^ナノ三^{サン}異^イ
是^スニ異^イ説^{セツ}アリトモ資^シ生^{シユ}經^{キョウ}ノ如^{コト}足^{タラシ}ノ膝^{ヒザ}ノ目^メヨリムカイ

ス子^コノカト^トシキワツ下^{シタ}ル灸^{キウ}ニ寸^サ計^ケニテツツツセ六^{ロク}足^{タラシ}ノ甲^{カウ}ノ
上^ノニシトル脉^{マキ}ヲ太^{タイ}衝^{チウ}ノ脉^{マキ}ト云^{イハ}止^トスル也サハト止^トテラ子^コ共^ニ
少^シシ齒^シニシトル也コシトル灸^{キウ}ノ止^トル是^スヲウルワシキニ
取^ト下^{シタ}可^ス知^ル是^ス則^{スレバ}秘^ヒ灸^{キウ}ノ口^ク傳^{デン}也易^{ヤス}ク人^{ヒト}ニ不可^ス傳^{デン}トイヘ
コト又^{マタ}人^{ヒト}ヲ救^スント思^{オモ}フ心^{ココロ}深^{コソク}ニヨツテ秘^ヒ灸^{キウ}古^コ實^{ジツ}ヲ不^フ殘^{ザン}注^{チュ}
シアラス故^{ユヘ}ニ如此^{コト}書^{カキ}載^{サイ}也已^ニ上^ノ七^{シチ}穴^{ケツ}ハ愈^ユハ又^{マタ}灸^{キウ}シ度^{タク}ニ
可^ス灸^{キウ}此外^{ソノトモ}大^{ダイ}推^{ツイ}風^{フウ}洞^{ドウ}手^テノ三^{サン}里^リ巨^{キョウ}關^{カン}胃^イ腕^{ワン}關^{カン}腕^{ワン}ノ
穴^{ケツ}ヲ灸^{キウ}セヨ又^{マタ}中^{チュウ}風^{フウ}脚^{ケツ}氣^キハ痛^{イタ}取^トヲシテ見^ミテ答^{コタヘ}ル取^ト
ツサヘテ灸^{キウ}スル是^スヲ阿^ア是^スノ穴^{ケツ}トナツク定^{サマ}取^トサシ此外^{ソノトモ}中

脾

風ノ要灸ハ背ノ口傳ニアリ書ツクスヘカラス又中風際元
ヲ灸ス第一ノ灸也腋ノ下三寸ニアリ此穴ハ腎肝ノ三
經ヲ納メ頭風ニ百會ヲ灸ス又卒谷ヲ灸セヨ身ノ通
リノ上髪中ニ入灸一寸ニアリ又方ノ手ナハスクニ忽平
愈スニ灸中風ノ秘灸手クヒノ大キタメトウデノ中ノ大
キタメト寸法ヲ取テニ折テ又手クヒヨリアテ、サキシ
灸スウニ外ノ方マナカ大スチノアイクホメル取也五十壯
可灸

一椒目散 治盜汗日久不止

根

椒目 麻黃 各半分

右細末メ每服一錢ヲ先灰酒調垂テ食后ニ可服

一麻黃散 治盜汗

麻黃根 半兩 半夏 一錢 枯薑根
右細末メ臨臥米醋調傳兩乳上

一方 孟詵 久治盜汗 效一升

右清酒三升ニ浸シテ三日置テ汁ヲ取テ心ニ任テ服ス

一方 盜汗治脾虛人 白朮 二兩 白茯苓 二兩

右麩末ノ每服五錢水一盞半生薑三片末ニ入テ煎

粉汗散

至八分去滓空心食前三服

一方選奇方 麻黄根一两 龍骨半两 牡蛎一两

右細末絹袋中以之盛如模粉用之

一牛黄清心圓 和劑 治諸中風緩縱不隨語言蹇

淡心性健忘恍惚頭目眩昏胸中煩鬱痰涎壅

塞精神昏憤又治心氣不定神志不定驚恐怕

怖悲憂慘感虛煩少睡喜怒無時或發狂癲

神情昏乱俄頓死之舌強不能言四肢拘急心

神恍惚不知人

憤

一作西二八

牛黄 八錢研飛 龍腦 一两 別研 羚羊角 一两 ヤスリニテ

雄黄 八錢研飛 麝香 一两 別研 犀角 一两 ヤスリニテ 蒲黄 半两 炒

乾山藥 七兩 桂心 一两 七錢半 人參 二兩半 當飯 兩

防風 兩 黃芩 麥門冬 白芍藥

白朮 各一两 甘草 五兩 柴胡 桔梗

杏仁 白茯苓 芎藭 半 白欬 七錢 半

乾薑 七錢半 大棗 一百ヶ蒸熟去皮 神麴 研 二兩半

金箔 千二百箔内ヲ 大豆黃卷 碎砂 阿膠 碎炒 各一两 雄黃

右除大棗杏仁金箔二角末及牛黄麝香雄黃

竜腦四味外為細末及餘茶ヲ和勻用煉蜜与
束之膏為圓每兩作二十圓用金箔シテ為衣每服
一圓温水化下食後服之小兒驚癇キヤウケン即酌度
多少之用竹葉湯モモ化服スモ此茶大風秘ヒ茶
兼令調合カチテ緋袋ヒ入テ隨身中風シ名ニ口ヲコチカケ
テ可入之忽カクニ換ナリ

一麻黃散 治風癔舌強不能言四肢拘急心神恍
惚不識宜服之

麻黃 二兩 石膏 二兩赤燒入醋 當飯 一兩

芎藭 二兩 甘草 半兩 茯神 半兩 桂心 一兩
黃芩 二兩 杏仁 五十枚

右麩末メ每服二錢重水一大杯入テ七分煎去滓
温テ可服不定時

一物桂圓 胡氏方 俄中風メ不物言ヲ治ス

桂心 一兩 牛黃 一分 人參 二分 右如彈丸

一延齡湯 治諸風

甘草 二兩 白朮 二兩 荊芥穗 三兩

右細末メ茶清シテ服之不拘晷候每服二錢

一開禁圓 中風ニロクイツメテ不開ヲ治ス

附子二兩生 甘草生半兩 桂心生半兩 牛黃二分

右細末メ練蜜皂角子大ニ毎服一丸ヲ不定時温

酒若ク前ク生薑湯ニテモスリテロクコチ開テ可入

忽ニ糞生ス無双ノ秘薬ナリ

又方 大豆三升クリコカシテ酒三升入テ汁ヲ

又方 皂角二兩去皮子右細末メ香酢ニスリトキテ左ヘカ

ニ右ツラニスレ右ヘカニ左ニスレカワカ又可塗

一神効散 治大風

黃皮三錢半 皂角三錢制 牛黃一分

右三味研勻作一服温酒ヲモテ調下ス制晚食セス次ノ

日空心ニ服至二更テ后ニ取下虫ヲ或ハ大小長短思甲

紅甲カラウ顔色シヨウニアラス約ス二升已上ニ其病遂ニ愈利

下ル虫ハ喉虫也ハ更ニ別物ナシ人ヲ損セテ後ニ百ハ日ハ白

粥ヲスレメヨ及ヒ氣ヲ補スル薬ヲ進メ諸動風等ヲ忌

一萬中風ハ唐胡麻シムキテ細ク碎テ絹ノ袋ニ縫クニテ

五香煎ノ如クアハ煎メ可服秘此薬也云ハ

中風宜食 胡麻 山芋 干枣 大根 牛房

サズイ難イ

ルニクハロナシ
スモ、モチイ
サ久イ、アラソバ
エトウ、油物
スシ、ラシイ、ノシ
ナニス、ロシ、タカシ
・禁物

蓼酒
ハウ子
柚
橘
コフシ
カラシ

キクキ
ニラ
スソウ
ハカ
カサニ
姜

鹿イカ
ウチキ
ス、キ、公
ナニコ
鴈

同禁物。餅
餅米
栗
山椒
枇杷

蕨
蕎麥
麦
クサヒラ
ムラサキ、ノ、リ
カニ

寫本端書云ツ

一靈其一穴 第六頤節ノ下ニアリ中風百病ニ
是ツ灸スレハ悉クカアリ

一中風心腰ニ穴 第五椎ノ下西方へ去、一、寸五
分ニアリ

陽池 一 中風秘穴湯治ニ穴手ノ名大指ノトシリ節ノ中
クホル所ニアリ

八寶回春湯 一本有之疑 後人附録

頓醫抄卷第二終



